

感染症蔓延時に野外活動をするもののリスクと そのリスクをコントロールするための対策へのご協力をお願い

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中で感染拡大を続けており、これまでの疫学的データから、特に重症化リスクの高い方にとって引き続き警戒すべき感染症とされています。社会は今、感染症対策を講じながら、日常生活を取り戻しつつあります。

神戸YMCAキャンピングサービスセンターでは、オンラインでの体験が増え続ける今、自然の中で仲間と過ごす「直接的な体験」がこれまで以上に貴重な体験になることを認識しつつ、感染症対策を講じた上で事業を再開します。しかし、生活におけるオンラインの比重が今後益々増えることは避けられない、との観点から、オンラインでのコミュニケーションを導入し、新たな事業として再開します。

以上の観点から、デイキャンプ・キャンププログラム参加の皆様には、下記「新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」の確認と、「感染症蔓延時の活動リスク」についてご確認ください。別紙承諾書にサインし、事前に郵送してください。

感染症蔓延時の活動リスクについて

野外での活動は通常「リスク」を伴います。リスクとは一般的に、「将来に起きる可能性のある良くないこと」のことであり、リスク＝危険ではありません。通常の野外活動でも、内在するリスクをコントロールすることによって、安全な活動を行うことができ、貴重な経験や成長という成果を得ることがあります。現在は新型の感染症蔓延期のため、通常のリスクに加え、下記のようなリスクがあることをご理解の上、ご参加ください。

1. 参加者のリスクについて

通常の野外活動におけるリスクとして、

1. 参加者自身の免疫低下の可能性があります（疲労や冷えによる）。
2. 怪我などの傷病のリスクがあります。

通常のリスクに加えて、

1. 怪我などの傷病によって病院を受診する可能性があり、感染リスクが通常より高い場所に行く可能性があります。

2. 参加によるリスクについて

新型コロナウイルスは未発症または軽症でもウィルスの媒介者となる可能性があるとされています。同居の方に重症化リスクのある方がいらっしゃる場合は、ご自宅で有効な予防策が取れない場合、感染のリスクが高くなります。

3. 感染予防にご協力をお願いします。

1. 別紙ガイドラインを理解し、活動前に「感染予防1・2」の動画を必ず視聴してきてください。
2. 集合時にリーダーより、参加者ご自身の健康状況と同居人等過去2週間に濃厚接触した方の中で体調不良者がいないかどうかの確認をさせていただくことがあります。